

令和5年度

事業所における自己評価結果

公表:令和6年 3月 21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		限られたスペースではありますが、必要な広さを確保できるよう工夫し、子供が主体的に活動できるよう構造化しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		療育の質や安全面も考慮し、定められた基準よりも多く職員を配置しています。専門性を高めるよう努力してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関脇にはスロープがあり、室内にも段差はなく、バリアフリーになっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		感染対策を考慮し、療育終了後に清掃、消毒を行っています。今後も続けて参ります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年全員でアンケート結果について話し合い、業務改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		全員でアンケート結果について話し合い、業務改善に努めるとともに、その内容を3月末までに配布しています。また、ホームページでも公開しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各自可能な限り研修に参加しています。
適切な支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者に定期的に聞き取りを行い、支援会議でニーズや課題を分析して個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		定期的にニーズを聞き取り、提出されたアセスメントツールを使った結果を基に状況把握に努めています。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		全ての児童の児童発達支援計画書に「発達支援」「家族支援」「地域支援」を設定し、具体的な支援内容を記載しています。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		活動ごとに支援計画に沿ったねらいをもって、支援を行っています
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		事前にみんなで相談したり、ミーティングで活動プログラムを決めたりしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善内容又は改善目標
援 の 提 供	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		一人ひとりの成長に応じて計画しています
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		適宜組み合わせています。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日打合せを行っています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日支援終了後にカンファレンスを行い、支援の振り返りを行っています。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ねらい、支援内容、結果、改善策などを記録しています。今後も支援の改善に繋がるよう、努力していきます。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しており、必要に応じて支援担当者も参画しています。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて行っています。
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて行っています。
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関と連携し、支援につなげています。また、発達障がい者支援センター等の研修を受けています。
	25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	幼少期であるこの時期に、事業所で対人関係の学びを深めて頂きたいと考えております。事業所での学びを基に、それぞれが所属されている園で楽しく友だちと関わられるように支援していきたいと思っております。事業所での活動で他の園と交流する機会を設ける予定はありませんが、ご了承ください。
	26	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		人吉球磨障がい者総合支援協議会に参加しています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明し、いつでも閲覧できるようにしています。
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		おひさまだより、行事予定等、定期的に発行しています。
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	○		今後も十分に注意していきたいと思います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	大勢の方が集まったり、賑やかな場所が苦手な子供も多く、混乱を招く恐れもあり、行事に地域住民を招待するなどは、今のところ計画しておりません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急時対応マニュアルは、事業所(玄関脇)に配備しています。重要事項説明書交付の際に内容をご確認いただいています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に行っています。
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認させていただいています。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時と年度始めに毎年確認させていただいています。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		県の虐待防止研修を受講しています。また、職員全員で研修会を開催しています。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束廃止委員会を設置し、指針を策定しました。今後も適切に取り組んでいきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。